

江戸川乱歩自筆稿本『家蔵同性愛関係』目録 2

—— 和本目録、洋書目録、西洋に関するもの、東洋に関するもの ——

丹 羽 みさと

はじめに

本稿は『大衆文化』第十七号掲載の拙稿「江戸川乱歩自筆稿本『家蔵同性愛関係』目録1 —— 和書の部 ——」に続く、男色文献目録の翻刻である。書誌に関しては、前号を参照されたい。近代に刊行された和書を中心に編纂された前号とは異なり、今回の目録には和漢の古典籍や洋書、経典などが収められている。

この内、「和本目録」には六十八点の資料が挙げられており、『秋の夜長物語』や『よだれかけ』などは、乱歩旧蔵書¹のものと一致する。しかし、本目録作成以後に買い足され、善本に取り替えられたものも存在する。例えば、巻

三のみ所有と記された『武道伝来記』は現在八巻八冊本として、また巻二のみ所有とある『好色江戸紫』は五巻五冊本として伝わっている。この他にも現存資料との相違がいくつか確認できることから、乱歩の和本収集の痕跡を辿る資料としても本目録は位置付けられる。

本目録の利用方法の一例を提示してみたい。

乱歩の「百面相役者」(『写真報知』大正十四年七月)には、種々の古典が挙げられている。その内、「R」が好きでよく読み聞かせてくれたものが、上田秋成『雨月物語』の「青頭巾」となっている。該当部分を抜き出してみよう。

下野の国のある里の法師が、十二、三歳の児童を寵愛

していたところ、その童児が病のために死んでしまつたので「あまりにも嘆かせたまうままに、火に焼きて土にほうむることもせで、顔に顔をもたせ、手に手をとりくみて日を経たまうが、つひに心みだれ、生きてある日に違はずたはむれつつも、その肉の腐りたたるをおしみて、吸ひ骨をなめ、はたくらいつくしぬ。」³

(傍線は論者加筆)

乱歩は『雨月物語』本文を「」でくくり、書き写しているが、ここで問題となるのが傍線部である。「顔に顔をもたせ」という一文は、『雨月物語』原典では⁴「かほにかほをもたせ」となっており、それは次に挙げたように、近代以降の翻刻出版物でも基本的に同様である。

- ① 『雨月物語』富士貸本出版部、明治二十六年
- ② 『雨月物語・弓張月』国民文庫刊行会、明治四十二年
- ③ 『雨月物語・諸道聴耳世間猿』袖珍文庫第二十六編、三教書院、明治四十三年
- ④ 『雨月物語』有朋堂書店、大正一年
- ⑤ 『上田秋成全集』第一、国書刊行会、大正六年
- ⑥ 鈴木敏也『雨月物語新釈』富士房、大正十年

「百面相役者」が発表される以前、則ち大正十四年以前に「顔に顔を」と記されているものは、帝國文庫第三十二編『珍本全集』中巻(博文館、明治二十八年)が、確認できた中では唯一である。同じ箇所を引用してみよう。

あまりにも歎かせたまふまゝに。火に焼きて土に葬ることもせで。顔かほに顔かほをもたせ。手に手をとりくみて日を経給ふが。終に心みだれ。生てありし日に違はず戯れつゝも。其肉の腐り爛るゝを呑みて。肉を吸ひ骨を嘗て。はた啖ひつくしぬ。

送り仮名など多少の差異はあるものの、「かほ」の漢字表記は他とは異なり「顔」となっており、「百面相役者」の底本が、『珍本全集』中巻である可能性が示唆される。

そしてそれを強化するのが、本目録である。前号掲載「和書の部」で「青頭巾」を確認すると、『珍本全集』所載のものが底本とされており、明らかに乱歩が同資料を参考としていたことがわかる。

しかも、乱歩の旧蔵書中には『珍本全集』中巻を見出すことができる⁵。背表紙が張り替えられ、乱歩の字で「文庫 珍本全集 中」と墨書されている同書には、所々朱の傍点

や○などが書き込まれ、精読の跡が見える。「青頭巾」の章にもそれらは散見される。

以上の様に、作中の文字、本目録、現存する旧蔵書から、『珍本全集』中巻は「百面相役者」の典拠の一つであると明示される。

乱歩は作中でしばしば古典籍に触れているが、研究対象となるのは稀であった⁷⁾。本目録は、乱歩が実際にどのような本を読んできたのか、その実態を知ることができるのであり、利用価値の高い資料である。

乱歩の旧蔵書には「探偵小説家」とは結びつかない書籍も多い。入手動機のヒントを提示してくれるのも、本目録である。一見、同性愛らしからぬ資料を博搜し、その要素を見抜き、目録化する努力からは、「同性愛」についての研究を、真摯に行っている姿が浮かび上がる。「西洋に関するもの」の稿には、乱歩自身が記した随筆「J・A・シモンズの私なる情熱」(『精神分析』昭和八年五、六、八、十月)や「ホキットマンの話」(『新青年』昭和十年一月)も載せられており、男色研究者としての自負も垣間見える。単なる「好事家」としてではなく、男色研究の価値を高めようとした痕跡が、本目録であるといえよう。

なお本稿は前号に引き続き、『江戸川乱歩と大衆の20世

紀に関する総合的研究』(科学研究費補助金(基盤研究(B)(2)) 16320029)の研究成果報告書(平成十九年五月)の掲載原稿を加筆修正したものである。またそれぞれの文頭に記された「立教大学平井家寄託資料 K-11-2(5)」は各資料の請求記号である。本目録には不適當と思われる表現が見られるが、執筆当時の時代背景等を鑑み、ほぼそのままの表記とした。

〔凡例〕

- ・旧字体は新字体に統一し、「ッ」「ヤ」「ユ」などの表記揺れは大文字に統一した。
- ・新聞切り抜きなどの添付資料、ミセケチ、注記のない頭注の印(○や✓)は省略した。
- ・書名下の漢数字は巻数等を示し、書名上下のアラビア数字は該当ページを示している。
- ・論者注記は「*」を付した。
- ・人名下の英数字は、購入時の金額と思われる。
- ・挿入文は「」内に記した。

家蔵同性愛関係書(其二) 和本目録

○印は純粹男色本
和本の部

(小説類)

○「秋の夜長物語」全

寛永十九年 安田十兵之板。

「仮名草子」二冊

大正十四年再版

水谷不倒編

「武道伝来記」零本卷三

井原西鶴

①「男色木芽漬」全六卷

享保三年孟春

京中川茂兵士
大阪瀬戸物屋伝兵士板

漆屋園齋自然坊200

内巻一だけ上野図書館元版を引写し。

②「和国小性形氣」全六卷ノ内第一巻欠本

50

享保五_{子庚}正月

帝國文庫復刻には六卷を欠く。

「武道三國志」全十巻

著者を記さず15

正徳二年板

○「男色十寸鏡」写本一冊全

三夕軒好若居士(写本)
夢軒好善居士(好色本目録) 8

貞享四年七月序。写しよろしからず。

(「小夜嵐」) 零本卷十 *頭注「男色ニ非ず」

元禄十一_{戊才孟春吉旦} 西鶴書とあり。

○「好色江戸紫」零本卷二

江戸石川流宣

貞享三年版 古山師重繪

(「花の名残」) 零本卷四

不詳

貞享元年板 男色ニ非ず

○「色の染衣」零本卷一

江戸立羽不角

貞享四年

「傾城禁短氣」全六巻

序ニ自笑180

宝永八年板(元刷)

「風流曲三味線」全六巻

其積90

宝永七年板(刷悪し)

「野傾友三味線」零本卷三

北条団水
又八西沢一風両説

「野傾色競馬」と同本(列伝体小説史)

宝永五年刊

「役者色仕組」零本卷一

八文字其積

序に「于時_{子庚}のめでたい花の盛月」とあり。

「男色鑑」(謄写版本)

印刷よろしからず。絵なく文のみ。

「呷千里新語」全五巻ノ内巻一欠本

宝曆十二年板。

○「根南志草」全五卷（二冊ニ合本）

平賀源内

宝曆癸未秋九月序。序に天竺浪人と記す。

「華雪吹若衆宗玄」全六卷二冊（合本）

柳亭種彦

文化九年夏稿
同十年春発兌

「廉目判十郎 南色梅早咲」全六卷二冊（合本）

柳亭種彦

文政二年己卯四月序
同三年庚辰正月発販

「三津瀬川上品仕立」

柳亭種彦

天保三年正月序。板東秀佳、瀬川路考追善の際物出

版也。

「芝居万人葛」かつら（全合本横本表紙なし）

「竹齋」卷下のみ

天和三年 鱗形屋板。

「新竹齋」全五卷合本（二丁破）

貞享四年板

「美少年始」

一九

「田の助曙草紙」

○「敵討名残広記」（血だるま）

「白縫譚」（初篇嘉永二年）

柳下亭種員

（小咄、狂歌其他）

「詠風未摘花」全六篇二冊合本（複写本）

安永五年秋序（一篇）
亥とし孟春（第六篇のをはり）

「貞徳狂歌集」上中下

（稀書複製会本）

天和二年秋江戸。絵師菱川吉兵エ。

「武左エ門口伝はなし」上下

（右同）

鱗形屋。

「正直はなし」全五卷

石川流舟

元禄七年九月江戸板。菱川師宣絵。

（絵本）

「浮世続」全（稀書複製会本）

菱川師宣

天和二二年子正月 鱗形屋

「風流四方屏風」上下（同上）

鳥居庄兵エ清信

元禄十三年三月。

「役者絵づくし」上中下（同上）

古山師重

延宝の頃。

「やまとの大寄」全（同上）

菱川師宣

「姦きやうしや男なさけの遊女」上のみ（同上）

「絵本玉かづら」下のみ（同上）

西川祐信

享保廿一年正月京板

「菱川師宣画譜」（雅俗文庫）

明四十四年九月

「人倫訓蒙図絵」全七卷（珍書刊行会本）

〔稀〕「稚児の草紙」（男色絵巻）写し五函 巻物。

醍醐三宝院蔵日本最古の男色絵巻透写し。

「好色訓蒙図彙」謄写刷一冊

〔役者評判記 其他〕

○「野郎虫」全（稀書複製）

京。

○「野郎大仏師」全（同上）

武州住某

○「中正月（附録の年号）。于時丁未仲秋（本文の年号）」

○「中襄張草」上下（同上）

瘦牛序

○「難波立聞昔話」全（同上）

慶安二年（一、二、三、四卷）承應二年（五、六卷）

○「真享三年霜月序。大阪。」

柳亭種彦書入れ本。

○「クハススケ姿記評林」全（珍書保存）

華蕊軒蘭水

○「クハススケ元禄十三年刊。上方。」

〔稀〕「若衆物語西明寺殿百首」全一卷

○「クハススケ襄張草」合本（写本）

〔稀〕「岩つゝじ」全二卷

○「古今役者物語」（石版複製）

正徳三年板。

○「芝居百人一首」（クハススケ瑠璃版）

〔沙石集〕全十卷

○「延宝六年。江戸。伊原青々園。解説。」

慶安五年板。

○「クハススケ鳥居清信

〔宗祇諸国物語〕全五卷

○「元禄六年五月板。正しくは「古今四場居百人一首」

貞享二年板。

後「古今四場居色競」と改題して絶版を命ぜらる。

（演劇珍書刊行会本）

〔ウツクシ戯子卅六歌撰櫓色紙〕（複製） 馬琴作・豊国画

寛政十二年六月上旬。稿本。*頭注「男色ニ非ず」

〔絵入浄瑠璃史〕上中下 水谷不倒

大正五年、水谷文庫発行。

〔あいこの若〕（大毎金平本全集）

宝永五年。鱗形屋。

〔隨筆 其他〕

〔稀〕「よだれかけ」全六卷

梅條軒 350

慶安二年（一、二、三、四卷）承應二年（五、六卷）

柳亭種彦書入れ本。

〔稀〕「若衆物語西明寺殿百首」全一卷

宗祇作と云 150

〔稀〕「岩つゝじ」全二卷

北村季吟 35

正徳三年板。

〔沙石集〕全十卷

慶安五年板。

〔宗祇諸国物語〕全五卷

貞享二年板。

「堪忍記」全八巻合本

美濃屋彦兵エ板。

「一休はなし」全四巻

寛文八年板。

「一休可笑記」全六巻

宝永二年板。

「往生要集」全三巻

寛政二年（元禄二年板木による）

「三省録」全五巻

天保十四年板。

「和漢事始」全十二巻

元禄十年板。

○「西明寺殿百首和歌」

「細川殿百首和歌」

○「弘法大師一卷之書」写本

○「^{色男}山路の露」全三冊の内一冊欠本（虫）

全部男色絵本。（笑本）

具原篤信

志賀理齋

西川祐信 50

男色比翼鳥 卷二③ハ歌一つ卷六①一 128

男色大鑑 卷一①④

「きのふはけふ」37 その他に数首あり。

一休の狂詩（犬つれくゝ8）

信長の「人の若衆を盗むよりしては云々」

犬つれくゝ 13

よたれかけ 49 51 52 56 57 59 62 63

「我が起臥を人に知られな」の歌（日本演劇史 670）

閑吟集ノ衆道歌（歌謡史 630）

鷹筑波集の狂歌（同 690 絵の中）

松の葉

松の落葉 二三歌（岩波本及新群書第六）

武玉川

柳樽 〔書抜見よ 多少アリ〕

末摘花

漢詩（大鑑 卷四③）

狂歌

随大一、六卷 582 句二。同 593 江戸三吟。同 594

同 620 637 643 658

* 以下別紙添付資料

歌、句

野傾友三味線 卷一に狂歌二つあり

家蔵同性愛関係(其三) 洋書目録

同性愛関係洋書(家蔵)

(一) 一般同性愛論

① 「ウルリックス同性愛論全集」 十二巻を
十四冊に合本

ウルリックス独30

ウルリックスはドイツの法律家。終生を同性愛弁護の運動に費す。ヌマ・ヌマンテイウスその他の匿名にて長期に亘り同性愛論を著す。その全集集である。同性愛弁護の纏りたる論集最初のものとして、あらゆる同性愛書に引用せられる。ドイツ本、古書肆より買入。

② 「ギリシャ道徳の一問題」 合本、五百部限定出版

③ 「現代道徳の一問題」 J・A・シモンズ英20

英本国では十部と五十部の限定出版。この書は後年アメリカにて出版せる五百部限定のもの。カーペナーに先つ文芸家の同性愛論として貴重なる文献。アメリカ古書肆より買入。

④ 「中性論」(異本二種) エドワード・カーペンター英

ジイドの同性愛論「コリドン」の先駆を為す余剰性慾説。同性愛論がこゝに始めて芸術と結びついた。○ 「原始民俗に於ける中性者」 カーペンター英

日本の同性愛を説ける一章がある。巖小波山人の独逸同性愛研究誌に寄稿した文献などが引用されてゐる。大体はヒルシユフェルトルによつてゐる。

○ 「友愛名句集」 カーペンター英

友愛と称するも同性愛である。西洋古代より現代に至る帝王、文人、学者、画家等著名の人々の友愛に関する文献を網羅す。

⑤ 「日本、支那、朝鮮の同性愛生活」

カーシユ・ハーク独10

カーペンターはヒルシユフェルトに拠り、ヒルシユフェルトはこのハークの書に拠つて日本同性愛を書いた。西洋同性愛書の日本に関する研究の原典となつてゐる書。その詳しき事驚くべし。ドイツ古書肆より買入。

この書はカーシユ・ハークの龐大なる同性愛全書の一部、文明社会の部の内、東洋の部に属する。

○ 「原始民族に於ける同性愛生活」 カーシユ・ハーク独
右の同性愛全書の一部。

○「エロス・ウラニオスのルネツサンス」

フリードレンデル独

プラトンの意味での同性愛精神の現代復興を説く。

○「性倒錯（性心理研究叢書の一冊）」

ハッロツク エリス英

同性愛史、同性愛論史、性心理的論述、実例等、その観察の周到なると論旨の中正なる事なる事殆ど比類なし。

「性象徴」（右叢書の一冊）

エリス英

「エオニズム其他」（同）

エリス英

右三著はエリス性心理研究叢書中同性愛に関する全部である。

○「同性愛症」（英訳）

シユテークル独

実例に富む。論理には余力が入れられない。アメリカ古書肆より買入。

「自瀆と同性愛」

シユテークル独

○「同性愛論」

サン・ポール仏

エミール・ゾラの序文がある。

○「歐洲に於ける男色」（英訳）

タルノフスキ露12

アメリカ版。私版。五百部限定の内百七十二号。アメリカ古書肆より入手。医学者の著なれども、他の諸国のものと異り、非常に大胆なる記述。巻末に同

性愛関係書のビブリオグラフィがある。

「友愛と性慾」

ブラツエツク独

「男体に於ける女性的特質、女体に於ける男性的特質」

（英訳）

フェルティング独

「性心理学」（独文）

クラフト・エビング独

「性心理学」（英文）

エリスと同列に置かるべき、実例多き好著。同性愛研究の古典。

「現代性生活」（英訳）

イワン・ブロツホ独

エビング、エリスの系統に属する書。三著ともインデックス有益也。

（精神分析より見たる同性愛）

「精神分析と性慾」（英訳）

フェレンツイ ハンガリイ

同性愛の章は参考となるべき事多し。

「精神分析と恋愛」

トライドン米

同性愛二章あり。通俗的且つセンセイシヨナルな記述。

「精神分析学」

ポーワア米

「フロイドとその時代」（英訳）

フリツク ウキツテル独

「サディズムとマゾヒズム」（英訳）

二卷

当然同性愛に言及してゐる。

「精神分析学」

シユテークル独
ジョセフ ジャストロー米

○(古代ギリシヤとルネツサンス)

○「古代ギリシヤの性生活」(英訳)

ハンス・リヒト独 20

半ば同性愛に費す。引用多く、非常に参考となる書。

美しき写真多し。人名インデックス有益也。

○(稀)「ギリシヤ美術」(禁本)

ハンス・リヒト独 10

写真を主として、彫刻、絵画、置物、陶器絵、等の性慾描写を紹介す。殆んど春画也。禁本。男色行為を実証する陶器絵等あり。

「ギリシヤ美術」(大版)

ハンス・リヒト独 20

大型、写真鮮明也。右の書よりも露骨でないもの。

同性愛の章あり。

「ギリシヤ彫刻写真集」(大版)

フエルトエングラー独

「ギリシヤ彫刻写真集」(大)

サウエルラント独

「ギリシヤ美術写真集」(大)

ウオーターズ英

「エジプト美術集」(大)

フエヒハイマア独 30

「古代ギリシヤの宗教儀式」五卷

フアーネル英

「ギリシヤ叙事詩の起源」

ミュレイ英

ヘイグ英

「ギリシヤ悲劇」

「ギリシヤ詩人の研究」(二卷合本)

J・A・シモンズ英

この著者故、同性愛精神に充つ。同性愛詩の英訳多し。

「ギリシヤ・ローマ風俗辞典」

ウヰリアム スミス編英

「アリストフアネス喜劇集」(英訳) 二卷

ニユーヨーク 稀書複製会

同性愛喜劇を含む。限定私版。(猥褻の為)

「プラトーの理想主義」

フレイザア英

「ギリシヤ人、ローマ人の生活」(英訳)

グール及コーナー著独

「ルシアンとプラトーとギリシヤ道德」チャプマン米

同性愛のこと多し。殊にルシアン of 文獻。

「ギリシヤ倫理想」

ヒルダ オークレイ英

ホームマーよりストイックまで。

「古代ギリシヤ文学史」

ハロルド フォーラー米

「ユーリピデス脚本集」(英訳)

ギルバート ミュレイ英

「プラトー対話篇」(英訳)

ベンジャミン ジョウエツト訳文英

「プラトー集」(エヴリマンズ・ライブラリ本) 二冊

リンゼイ序英
「クセノフオン^{ヲメモラレリアアス}」(ロエブ希英対訳叢書)

マーチヤント訳英

「クセノフオン^{ヲメモラレリアアス}キロペディア」(ロエブ本) 二巻

ミラー訳英

「ソフォクレス脚本集」(ロエブ本) 二巻

ストール英

「プラトン集」(ロエブ本)

フオウラー英

「アリストテレス^{ヲメモラレリアアス}倫理学」(ロエブ本)

ラツクハム訳英

○「レスボス島のサツフォ」

ワイゴール英

サフォの同性愛史、その詩作への影響。参考となる事多し。

「ギリシヤ研究」

^{フイター}ペーター英

「プラト^{ヲメモラレリアアス}とプラト^{ヲメモラレリアアス}主義」

ペーター英

「マーカス・アウレリウス・アントニウス伝」(希英訳)

英

「イタリー、ルネツサンスの研究」七巻

J・A・シモンズ英

同性愛精神に充つ。全巻に同性愛の事散見。

「ミケランジェロの生涯」二巻 J・A・シモンズ英

ミケランジェロの同性愛に言及す。

「ミケランジェロのソネット集」(英訳)

J・A・シモンズ英

同性愛のソネットあり。

「ベンヴェヌト・チエリニ自伝」(英訳)

J・A・シモンズ英

チエリニの同性愛に言及す。

「ルネツサンス」

^{フイター}ペーター英

ミケランジェロ、レオナルド、ウインケルマン其他の同性愛精神。

「レオナルド・ダ・ギンチの精神」

マツカーデイ英

「ミケランジェロ伝」二巻

ヘルマン・グリム独

「ミケランジェロ伝」(書翰と手記による)

^{ロバート}カーデン英

「ルネツサンス美術」二巻(写真多し)

シユルツ独

「画家彫刻家逸話集」

スプーナー米

(人種学、民族学)

「野蛮人の性生活」

ラファロキツチ英

濠洲野蛮人生活の研究。寝屋^{ネヤ}の事あり。

「ト^{ヲメモラレリアアス}ーテミズムと外婚」四巻

フレイザア英

フロイドの同性愛起源論に屢々引用されてゐる書。

「金の枝」二卷

フレイザア英

チエリニの同性愛あり。

(雑)

○「男色裁判事件集」(実話)

仏

○「異様な兄弟」(小説)

ブレイヤ
ナイルス作米6

純然たる同性愛小説。アメリカの男娼風俗、男色裁判の実際等を知るによろしき本。主人公の純情は哀れ也。

「草の葉」(詩集)

ホキットマン米

同性愛詩多し。

「ド・プロファンデイス」(獄中記)

オスカー
ワイルド英

「マルキ・ド・サド」(英訳)

オットー
フラーク独

精神分析的研究。

「バイロン伝」(英訳)

アンドレ
モーロア仏

○「性倒錯」大版写真多し。

ポルツエル独

○「オスカー・ワイルド其生涯と告白」フランク・ハリス
同性史といふも可なり。ダグラス卿の書簡、シヨウウの批判添附。

(J・A・シモンツ著作集)

「ベンゴヌト・チエリニ伝」(二卷合本) 自伝の英訳。

「青の主調音にて」(エッセイ集)

同性愛に関するもの三章あり。「ダンテとプラトールとの愛の理想」を含む。

「サー・フィリップ・シドニイの研究」

シドニイは同性愛傾向あり。

「ミケランジェロのソネット」(英訳)

同性愛詩あり。

「酒、女、歌」(中世風俗に関するエッセイ)

「ミケランジェロの生涯」二卷

同性愛について記す。

「ギリシヤ詩人の研究」合本

同性愛多し。同性愛詩の英訳多し。

「シエークスピアの前駆者達」

マローの研究を含む。マローは同性愛傾向あり。

「イタリイ、ルネッサンスの研究」七卷

同性愛の事多し。

「イタリイのスケッチと研究」三卷

同性愛精神散見す。

「新らしきもの古きもの」(詩集)

「そこはかとなく」(詩集)

両詩集とも同性愛精神を含む。

「J・A・シモンズ書翰集」

H・Rブラウン篇

「J・A・シモンズ伝」自伝と書翰による。 同人編

同性愛精神に充つ。

「シモンズの思出」

マーガレットシモンズ(娘)

④「シモンズ書誌」 五百部限定

バビントン

○「ギリシヤ道德の一問題」 共に一般的同性愛論の部に

④「現代道德の一問題」 詳し。

(エドワード・カーペンター著作集)

○「中性論」 異本二種

○「原始民族に於ける中性者」

○「友愛名句集」

以上三著は一般同性愛論の部に詳し。

「詩人シエリの心理」

シエリは同性愛傾向あり。

「我が日我が夢」

同性愛出版の困難、迫害について記すところあり。

「来るべき恋愛」

中性論の前駆を為せるもの。

「ラルト・ホキットマンとの日々」

訪問記。当然同性愛に触れたり。

「天使の翼」

「産業自由主義の方へ」

「愛と死の戯曲」

「文明の淵源とその救済」

「カーペンター伝」

「カーペンター、人と使命」

(ウオーター・ペーター著作集)

「ルネッサンス」

同性愛の人々を論ず。

「幻影の肖像」

「鑑賞」

「快樂主義者マリウス」二卷

「研究集」

「ギリシヤ研究」

「プラトールとプラトール主義」

「ガストン・ド・ラツール」(未完小説)

ギルバート
トム・スワン
ベイス

(同性愛文献書目)

カーペンター「同性愛名句集」ターノフスキ「欧洲の男色」エリス「性倒錯」ブロッホ「現代性生活」カーペーター「中性論」ヒルシユフェルト「同性愛」等のインデックスを調査すべし。

立教大学平井家寄託資料 K114

家蔵同性愛関係書(其四) 西洋に関するもの 邦人の著及訳本

同性愛関係邦訳洋書 及西洋に関する邦人の著書

(一般的なるもの)

「性慾研究」

大日本文明協会版。医学士黒沢良臣訳。

第八章(八) 性慾性精神病理学の後半に男色を論ず。

「性心理学」

大日本文明協会版。黒沢良臣訳。

第四章ノ内、色情感覚の倒錯症中の乙に同性愛を論ず。

○「変態性慾秘話」

ヒルシユフェルト独

守田有秋著。平凡社発行。著の如くなつてゐるけれど、内容は大部分ヒルシユフェルトよりの抄出(極めて不完全)である。

○「同性愛の種々相」

アルペール仏?

談奇館隨筆第四卷。花房四郎訳。女子同性愛の研究である。

○「性と性格」二卷

ワイニンゲル独

アルス発行。村上啓夫訳。

○「千夜一夜研究」

リチャードバートン英

バートン訳千夜一夜の附録。第四章第四節男色の項は内容豊富又男色帯の説参考とすべし。中央公論社。大宅壮一訳。

「フロイド精神分析学全集」

フロイド

春陽堂。大槻憲二其他訳。

(第五卷) 「性慾論・禁制論」第一論文第一章の内

同性愛の項。第三論文の一部。

(第六卷) 「分析芸術論」の内、レオナルド・ダ・ヴィ

ンチの同性愛研究。

(第七卷) 「トーテムとタブー」の内に男色起源に

つきて特異の説あり。

(第八卷) 「分析療治論」の内「性格と肛門性感」

(第九卷) 「分析恋愛論」の内三項目。其他全体に亘

つて。

(第十卷) に全体のインデックスがある。

「フロイド精神分析大系」

フロイド

アルス発行。

(第一、二巻) 「精神分析入門」安田徳太郎訳は、春

陽堂のものより詳しく好訳。その第

二十、第二十一、第二十六、第二十七の四章に同性愛を言及す。他は右春陽堂本に同じ。

「精神分析学」

久保良英

第四章二、四、第五章四ダヴィンチの生涯、五その解説。第十章一キリストへの同性愛。第十一章二集積

(ナルシシズム)。

「精神分析学」

井鏡節三

極めて通俗の紹介書なれど、当然同性愛の事を含む。

○「コリドン」同性愛弁護論。カーペンターの論旨

アンドレジイド

文学者の同性愛論は、別綴洋書部に記したシモンズとカーペンターがあるが、「コリドン」は一層文学者らしき評論。建設社版ジイド全集第三巻を含む。

○「コリドン評」「アンドレジイド」の一部

フェルナンデス

フェルナンデス自身同性愛者なり、評論に情熱あり。「ジイド全集」第十二巻を含む。

「一粒の麦若し死せずば」

ジイド

ジイドの自伝。彼自身の同性愛。ワイルドの同性愛において大胆なる告白。この様文学の最も魅力あるも

の。「全集」第十卷の内。

「ワイルド論」

「全集」第七卷の内。

「性の心理」全二十卷（増田二郎邦訳）

日月社発行。

（ギリシヤ及ルネッサンス）

「希臘文化史」

殆ど翻訳に近き著書。好書ならず。

「羅馬文化史」

「ギリシヤ史研究」

「世界に於ける希臘文明の潮流」

「希臘文学史」

「希臘悲劇論」二卷

「古希臘風俗鑑」小説（矢野目氏訳）

マルセル・シユオツプ

「希臘の春」（小説風隨筆 岩波本）

「ジェブ氏古代希臘文学総説」 Jehu 教授（木下正路訳）

「ギリシヤ哲学者列伝」 山本光雄

「イリアード」（馬場孤蝶訳） ホオマア

「アリストテレース」 青木巖

「アリストテレース詩学」 杉浦嘉一

ジイド

エリス

小林秀雄

原隨園

坂口昂

田中秀典
井上増次郎

新関良三

「プラトン・パイドン」（菊池慧一郎訳）

「プラトン・シンポジオン」（白根孝之訳）

「ダンテとプラトールとの愛の理想」（田部重次訳）

「希臘悲六曲」（中村吉蔵訳）

エスキロス、ソフォクレス、ユウリピデス、解説つき。

「古典劇大系」（近代社）

（第一卷）アイスキュロス、ソフォクレス。

（第二卷）ユウリピデス、アリストファネス。

「ソクラテスの弁明」「クリトン」（岩波文庫本）

「プロタゴラス」（岩波文庫本）

○「二つの愛」

ルシアン

「苦痛と快樂」竹内道之助訳の内。

「中世欧洲文学史」

「欧洲文芸復興史」（田部重次訳）

「ルネッサンス史概説」

「伊太利ルネッサンスの美術」（城崎氏訳）

原著第三卷の訳である。 J・A・シモンズ

「ルネッサンスの文化」（泰西名著歴史叢書）

ヤコブ・クリストフ、ブルクハルト

「文芸復興」(田部重次訳) ペーター

「レオナルド」 木村荘八

「ミケランジェロ伝」(高田伝厚訳) アスカニョ コンデイギ

「ミケランジェロ」 畑正吉

「神曲」 ダンテ 山川丙三郎訳

第十一曲、第十四曲、第十五曲、第十六曲を見よ。

「プラターク英雄伝」 プルターク 高橋五郎訳

(第一卷)アレキサンダー大王、デメトリアス、アル

ンピアデス、テミストクレス、(第三卷)アリスチデ

ス、(第四卷)クレオメネスなどを見よ。

「レオナルド・ダ・ヴィンチ」 ゲオルグ・グロナウ 板垣なを訳

(近代作家)

カーペンター論文集

〔世界大思想全集〕 32)

ホキットマン論文集

〔世界大思想全集〕 80)

プラトールとプラトール主義

ペーター

「草の葉」(長沢重隆訳) 工藤好美

「ペーター論集」(田部重次訳岩波本) ペーター

「享樂主義者メイリアス」二卷(対訳) ペーター

(工藤好美訳)

○「精神分析第一卷合本」 江戸川乱歩

「J・A・シモンズの私なる情熱」未完

○「女性中心と同性愛」(堺利彦 訳) カーペンター

「カーペンター恋愛論」(山川菊栄訳) カーペンター

「ヴェルレーヌ研究」ランボオとの同性愛 堀口大文学

「ドリアングレイの画像」(矢口達訳) オスカール ワイルド

「^{逆稱}唯美主義の研究」 本間久雄

ワイルドの詳細なる研究。「デイ・プロファンディ

ス」考。 アンドレ ジイド

「ジイド全集」(建設社版)

(第三卷) コリドン (同性愛弁護論)

(第七卷) ワイルド論

(第十卷) 一粒の麦死なずば (自伝)

(第十二卷) 「コリドン評」フェルナンデス。 フェルナンデス

(第四卷) 贖金づくり

「自然と純粹」「ジッドとワイルド」の章π也

河上徹太郎

「ブルースト研究」(金星堂)

ジイド其他

「文芸評論」(芝書店)

ジイド

「続文芸評論」(芝書店)

ジイド

「ユリシイズ」(第一書房版第一冊
岩波本全部)

ジヨイス

「恋愛双曲線」(春陽堂世界名作文庫)(下欠) 二冊

オルダス
ハックスリ

「ポイント・カウンター・ポイント」の訳。

「ブルースト覚書」

堀辰雄

「ソドムとゴモラ」の事を記す。「新潮」?切抜。(切

抜西洋の部にあり)

○「ホキットマンの話」(ホキットマンと
シモンツのこと)

江戸川乱歩

「新青年」昭和十年初(切抜袋にあり)

(雑)(書目)

「世界艶笑芸術」

丸木砂土

「性科学全集」第三篇。同性愛文学を含む。

「世界好色文学史」第一巻

酒井潔

(五百部限定34)

⑤ Bilder-Lexikon (ウキーン性科学会原書)

梅原北明沢

A、B、C、D、Eの五巻まで。(性科学事典)

石田翺風

「基督教と邪淫と恋愛」

コリント書の男娼と男色その他。

⑤ 「性慾学語彙」

佐藤紅霞

「変態資料」三号、七号

Bibliotheca Curiosa et Erotica

Bernard Stern-Sana
佐々謙自訳

(性文学書目) 皮表紙。五百部限定の内百十一号

「世界艶書目録並解題」

佐藤紅霞編

「奇書」臨時増刊

(雑誌切抜)

「マグヌス・ヒルシュフェルト博士について」

「犯罪科学」昭和六年六月号

巖谷小波
大隈為三
丸木砂土
西村真次
三村徳蔵

「サード侯と其作品」

大隈為三

「犯罪科学」昭和五年十月号

「モルトケ伯爵の男色裁判」

伊東鋭太郎訳

「犯罪公論」昭和七年一月号

「未開人種に於ける同性愛」

ラムバクス
Dr. Rampus

「犯罪公論」昭和七年二月号(欠)

「化粧室の哲学」(丸木砂土訳)

サアド侯

「犯罪科学」昭和六年三月号より。

「女装曲芸師バルベツト」

「犯罪科学」昭和六年四月号

「肉屋に化けた人鬼」(人肉の腸説のつゞき)

「中央公論」世界怪奇実話の一。

城戸睦夫

牧逸馬

立教大学平井家寄託資料 K115

家蔵同性愛関係書(其五) 支那の部 印度の部

(東洋に関するもの)

「国訳一切経」百五十卷

(同性愛に言及せる経文左の如し。)

*頭注「国訳一切教本 卷、頁」

法華經安樂行品正法念經七(海録七_{右三五}四_{左七}、奴隸史、

三養)(除睡鈔) *頭注「法二七、法華經」

十(不)善業道經_{大正藏第十七卷}(海十六_左三)

*頭注「經一三

五戒相經_{十三葉}(海二二_右三養)(除睡鈔)

造像功德經(海上_{右十}、奴、三)

文珠内戒經(海三_右) *頭注「經十二、仏説菩薩内戒經」

大方広三戒經(海下_{十三}右) *頭注「華ノ四(?)」

決定毘尼經(海六_右)

沙弥十戒儀則經(海三_右、奴、三)

僧護經(海九_右、廿右、三)

阿含暮抄(海上_{左廿六}、三)

四分律(海十七_{右廿三}、三四_{廿七}、五五_三、南方、奴、三)

五分律（海廿八右五、三） *頭注「律十三」

十誦律廿二、廿一葉（海廿一四十、五六、三）（除睡鈔）

*頭注「律五、六、七」

有部律（海一十四、三） *頭注「律十七」

律撰（海一十四、二九、三廿三、三） *頭注「有印珍撰」

僧祇律一、廿一葉（海一廿五、南方、三）（除睡鈔）

*頭注「律八、九、十、十二」

五百問論（海下右七、三）（除睡鈔）

仏匡王經「太平記大全」に引く

大正藏經第十七卷793（經集中）

毘尼母論（海七初） *頭注「律十五」

善見律（海七十七） *頭注「律十八、善見律毘婆沙」

瑜伽論（海五九右十六、三養）（除睡鈔）

雜集論瑜伽論十五の五又分別名教論一名弘陳体義論 無著造（海七左二）

*「瑜十一」「阿毘達磨雜集論」也

梵網經無慈行欲戒（奴第三） *頭注「律十二、梵網經」

梵網古迹記（奴）

功德円満経（よたれかけ）（除睡鈔）

悲花経第四、授記品ノ第三王子（本朝浜千鳥）（よたれかけ）

*頭注「経五」

阿毘達磨俱舍論（エディポスコンプレクスの事あり） *頭注「毘二五―二六」

阿毘曇経下四葉（除睡鈔）

*頭注「毘一七―二十一、四種アリ」

永明智覚禪師垂誠（除睡鈔）

「カーマストラ」

印度学会編

同性愛の事あり。

「ライテイラハスヤ」

印度文学研究会訳

「情史」石印本十卷

江南蒼々外史

「情史抄」三卷

嘲々醉士抄録

共に「情外類」の章を見よ。情史の方格別詳細なり。

「五雑俎」十六卷八冊

明 陳留、謝肇淛著

卷八、人部四を見よ。

「西陽雜俎」二十卷五冊

唐臨海段成式何古撰
明古虞毛晋子晋訂

「淵鑑類函」四百五十卷、六十四冊、八函

二五二巻交友、二五五巻美丈夫、殊に三二三巻の寵

幸には同性愛文献を網羅す。

○「品花宝鑑」六十回、十六冊、四函

支那男色猥文学の最大のもの。

「板橋雜記」上下二冊

「笑府」

清余懷憲著
日本山崎蘭齋訳
清墨憨齋齋

男色笑話あり。

○「国際秘密照査団報告書」 上海同国報告手記

現代支那に於ける男娼事情を問合せたる調査報告書。

「シークレット・ライブラリイ」 「漫談」 増刊本

上海、ハルビンの魔界見物記。男色あり。

「カーマ・シヤストラ」 四冊

梅原北明一派が上海にて発行せる猥雑誌。支那性文獻の解題。摩鏡見物記あり。

○「日本、支那、朝鮮の同性愛生活」 カーシユ・ハーク独支那の部最も詳し。

（清人、隨園の編）

「新齊諧」 卷廿一

崇正時、某相公自言為蔡〔これは仙術家〕 京後身、以仙官隨所地獄、每廿間誦仁王經耳目為之一亮、又罰作揚州寡婦守空房四十年、故癖好尤奇、好觀美婦之臀、美男之勢〔也陽具〕、以為男子之美在前、女子之美在後、世人易之非好色者也、常使女衣袍褶、男飾裙釵〔女子に女裝也〕、而摸サグルモ其臀勢、以為得味外味、又常戲取姬妾優童數十、以被蒙首〔頭をかく〕、而露其下体〔好ミ也御〕、互猜為某郎某姬、以為笑樂、有内閣供

事石俊者、微有姿而私處其佳〔小生〕、公甘為唾〔レツル也〕弄〔好小生〕、有求書者、非石郎磨墨不可得也、号臀曰白玉綿団、勢曰紅霞仙行。

これは倒錯の甚しかりし人で、美男に自分の後庭を犯さしめ、自分又美婦の後庭を犯すを好みし也。内閣供事たりし石俊といふ微しの姿ある男は、臀、勢共に最良と有て、尤も愛幸せしなり。西洋にはかゝる倒錯者をしばく記しあるが、支那には此外に見及ばず候以上。

清人隨園錄 新齊諧 卷廿三

句讀法は小生がつけぬ也。した(一)は小生の註也。

雍正間 (A.D.1723-1735) 桂林蔡秀才、年少美風姿、春日戲場觀戲(即ち東俱なり)、覺旁有中摩其臀者上、大怒將罵而毆之、回面則其人亦少年、貌更美于己、竟乃糺然、転以手摸其陰、(摸ハさぐるト訓ム) 其人喜レ出意外、重ニ整衣冠、向レ前揖シテ道二姓名一、亦桂林富家子、讀書而未入泮者也(泮ハ判ニ同ジ)、兩人遂携レ手行ニ赴杏花村館、燕飲盟誓、此後出必同車、坐必同席、彼此熏香、剃而小袖窄襟、不知鳥之雌雄也、域中惡棍王秃兒、伺ニ于無人之處、將強姦焉、二人不可遂殺之、横屍域角之陰、兩家父母報官相檢、捕役見ニ秃兒衣上有血、擒而訊之*ここまで頭注「a」

吐_レ情伏_レ法、両少年者、平時恂々、文理通順、邑人憐_レ之、
為立_レ廟、每祀必供_二杏花一枝_一、号_二双花廟_一、偶有_二祈祷_一、
無_レ不立_二トコロニ_一応_一、因_レ之香火頗盛、(以下略之) *ここまで
頭注「b」

【注】

- 1 立教大学図書館蔵
- 2 「家蔵同性愛関係書(其二)和本目錄」に記された資料の内、現
存する資料と巻数冊数において相違するものは以下の通り。『武道
伝来記』(現在は八巻八冊 括弧内は以下同)、『小夜嵐』(十巻十
冊)、『好色江戸紫』(五巻五冊)、『花の名残』(一、三、五巻四冊)、
『野傾友三味線』(巻三、五 二冊)、『役者色仕組』(五巻六冊)、『竹
齋』(二巻一冊)
- 3 引用は、江戸川乱歩『心理試験』春陽堂書店、平成二十七年
- 4 上田秋成『雨月物語』明和五年序。早稲田大学図書館古典籍総合
データベースより。
- 5 立教大学図書館蔵。登録番号42130026
- 6 「一夏を」「に涙なく叫ぶに声なく」「楚王の宮人は「王舎が母は
夜叉」「異生が妻は」「老衲」「夜更て月の夜」「初祖の肉いまだ乾か
ずとぞ」の部分に朱が引いてある。
- 7 佐藤深雪「江戸川乱歩と近世読本」『俄草紙』昭和五十六年三月
ほか